

## 志真会

今年3月28日に滑川市議会議員で40歳から51歳までの若手で会派を結成致しました。滑川市議会の中で若い議員の多くで組んだ会派です。県内でも一番若い最大会派になります。名前の由来は、「市民がど真ん中の政治」から「市真会」→「志真会」といたしました。現市長の反対勢力と言われることもありますが、市民目線に立ち、良い事は良い、ダメな事はダメもしくは良い内容に変えて提案をするといった『是々非々』の考え方で対応していくという思いで結束いたしました。



会長  
竹原正人議員 48歳 (3期)  
自由民主党



経理責任者  
青山幸生議員 40歳 (3期)  
自由民主党



大浦豊貴議員 44歳 (2期)  
無所属



谷崎潤一議員 51歳 (1期)  
自由民主党



安達真隆議員 48歳 (1期)  
無所属



吉森真人議員 41歳 (1期)  
無所属

## 編集後記

日頃より皆様からの温かいご支援を賜り、ありがとうございます。最近ではコロナウイルス感染症も少し収まりつつありましたが、まだこの状況は変化すると思います。皆様も対策を十分とお過ごしください。また昨今のインフレに伴い、燃料の高騰、物価上昇が目につく状況にありますが、市民の皆様の負担が少しでも軽減できるように議会で提言してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



志真会  
滑川市議会議員  
安達真隆

滑川市議会議員

## 安達しんりゅう

## 活動報告

皆様に感謝と1年間の報告

発行

志真会 安達真隆 (無所属)  
〒936-0000 滑川市堀江 56-3  
TEL 475-6804

令和4年11月  
第1号

改革



## ごあいさつ

今年も残りわずかとなりました。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年11月の市議会議員選挙におきまして、一方ならぬご支援をいただきまして、誠にありがとうございました。長引くコロナウイルス感染症との新たな生活習慣を感じながらお過ごしかと思いますが、この時世の中で一つでも多くの幸せが増えることを心から祈ります。

10月初旬には中加積地区の高橋議員が不祥事にて議員辞職致しました事をまずお詫びいたします。私も議員としての政治倫理及び法令の遵守を行い、襟を正していく所存です。

さて、令和4年9月議会が9月21日に閉会いたしました。令和4年度一般会計補正予算に関する議案を審議し、全会一致で可決いたしました。今後も皆様の大切な税金が適切に執行されるように努めます。引き続きご指導くださいますようよろしくお願いいたします。

令和4年度一般会計 補正予算  
3億3,188万4千円

全会一致  
可決

## ■主な施策

厚生連滑川病院の小児科医の診断日の増に対する助成 300万円  
プレミアム付き商品券第三弾事業費 2,800万円  
海浜公園オートキャンプ場の追加整備 1,100万円  
ふるさと納税ポータルサイトの追加 1,500万円  
放課後児童対策事業費のWiFi整備 500万円

## 安達真隆の選挙公約

1. 公共交通の利便性向上 2. 山間地における鳥獣被害対策 3. 福祉・子育て支援 4. 政治改革

私の選挙公約につきましても、少しでも実現出来るように努めております。令和3年12月議会から令和4年9月議会における私の一般質問の内容を次ページに掲載しておりますのでご覧ください。

\滑川市議会ホームページ/



12月5日より、12月定例会が始まります。一般質問の映像は、滑川市議会のホームページでご覧いただけます。滑川市議会のホームページには、その他にも詳しい議会情報が満載です!ぜひご覧ください。

### 令和3年12月度

\映像はこちら /



- 1 コミュニティバス事業について
- 2 有害鳥獣問題について

電話でバスの予約をして、その予約があったときにそこへ向かうというデマンド方式はどうか。

石坂生活環境課長 「デマンド型交通については、事前の予約によって、自宅と目的地を効率的に移動することができるなど、利用者のニーズに応じた柔軟な運行が可能な公共交通システムである。今後、デマンド型交通の検討に際しては、運行ルートごとや便ごとの利用実績などを踏まえ、議員提案の方法も参考とさせていただきたい。

自由乗降、フリー乗降について問う。

石坂生活環境課長 路線においてバス停以外の任意の場所でコミュニティバスに乗り降りできる自由乗降は、利用者にとって利便性の高いものとして認識している。自由乗降は、バス停以外での停車による運行の遅れや安全確保などが懸念されることから、それらの問題点について、他の自治体の事例研究や滑川警察署との協議を重ねながら、導入に向けて具体的に検討したいと考えている。

### 令和4年3月度

\映像はこちら /



- 1 コミュニティバス事業について
- 2 消防団について
- 3 滑川中央線の樹木について

月定例会で質問した自由乗降フリー乗降についてどのように検討したか問う。

石坂生活環境課長 自由乗降は、バス停以外の路線上の任意の場所でコミュニティバスに乗り降り可能な運行形態である。現在、導入に向けてルートごとの道路状況を確認するとともに、警察等との関係機関と協議を行っている。

デマンド方式の導入に関して、市長も提案しているが、デマンド方式の導入、検討はどうか。

石坂生活環境課長 令和4年度に策定予定の地域公共交通計画では、実証実験を行った上で、デマンド交通の導入やバスの小型化などを検討することとしており、そのほか、今後実施を予定している住民アンケートなどでの要望等を踏まえて導入可能なものがあれば検討したいと考えている。

滑川市消防団の定数は330人で、実員数が現在296人と聞いている。定数に対して34人欠員が出

鳥獣被害対策実施隊育成について、銃の免許取得の計画や、他市では消防職員の方が所持しているところもあるが、滑川市ではどのような方向で考えているか。

黒川農林課長 滑川市鳥獣被害対策実施隊の隊員数は18名で、猟銃免許取得者は8名、わな猟免許取得者も8名である。また、隊員のうち7名が農林課職員であり、今年度も1名の職員がわな猟免許を取得する予定である。実施隊員に8名猟銃免許取得者がおられることから、現在のところ、市職員の猟銃免許取得について考えていない。

滑川市上小泉旧国道8号のカラスについて。

黒川農林課長 カラスなどの糞害、騒音等苦情があった場合は、市職員や滑川市鳥獣被害対策実施隊による追い払い、捕獲活動を実施しているところであり、今後とも関係機関と連携して、有効的な被害防止対策がないか研究していきたい。

ているが、増やす何か対策はあるか。

川岸消防署長 従来からのポスター掲示や広報なめりかわへの掲載、自主防災訓練等における呼びかけなど市民への周知を図るほか、町内会や市内事業所等に募集について協力を依頼するとともに、消防団員の処遇改善を図るため消防団条例の改正や必要な予算措置を行い、団員確保に努めている。

消防団員の入団が増えないのであれば、機能別団員制度を取り入れるべきではないか。

川岸消防署長 機能別消防団員については、全国の消防団を見ても形態はまちまちなのが現状である。滑川市でも過去に協議を行った経緯があり、引き続き検討を進め必要に応じてアンケートなども実施していきたい。

ケヤキの木を少し間引きする考えはないか。

荒俣公園緑地課長 滑川中央線には約1キロ区間にわたり、中央分離帯と両歩道、合わせて約170本のケヤキが植栽されている。ケヤキのような大高木の剪定や間引きとなると、樹木の生育状態やタイミング等を見極めながら実施している。今後についても引き続き適正な剪定等に努めていきたいと考えている。アンケートなども実施していきたい。

### 令和4年6月度

\映像はこちら /



- 1 滑川蒲鉾跡地について
- 2 DX化推進について
- 3 有害鳥獣被害について
- 4 滑川中央線の街路樹について

漁港近くの県水産研究所の協力を得て、富山県内ではまだやっていないウニの畜養をやってみたいかどうか。

水野市長 ウニの畜養のブランド化ができないか、選択肢の1つとして注目して資料を集めている。磯焼けの対策に、ウニの駆除と駆除したウニを畜養して無駄なく活用できる取組はSDGsの観点から見ても意義がある活動であり、漁業者、農業者、官民一体でブランディングすることを1つの選択肢として考えていければと思っている。

DX化推進について、地区公民館に市役所と連動したパソコンやタブレットを配付してはどうか。

丸山生涯学習課長 昨年度、全地区公民館にフリーWi-Fiを整備した。デジタル端末があれば地区公民館においてインターネットを活用した事業やワクチン接種の予約などできることから、タブレット端末の配布を検討している。東加積地区公民館及び

山加積地区公民館において実証実験を行うことにしている。インターネットを活用した事業が実施できる地区公民館を増やせるようDX化推進に取り組んでいく。

鳥獣被害防止総合対策交付金について、5月下旬、6月上旬に資材や道具を前もって配布してほしいという要望がある。支払いを前倒しできないか。

石井農林課長 鳥獣被害対策の実施については、県からの交付決定後であれば交付金支払い前に着手可能であり、交付決定前でも事前着工を提出すれば実施することができる。申請から支払いまでの一連の事務について早期に行うことができないか、関係機関と協議したい。

今回の補正予算で、ケヤキの木は何本伐採の対象になるか。

荒俣公園緑地課長 今年4月29日に発生した強風により、滑川中央線の街路樹が1本倒伏する事態となった。緊急点検を行ったところ、18本が危険な状態であり、伐採本数は最大限18本と考えている。剪定や間引きについては樹木の生育状況の把握に努め、けやき通りにふさわしい景観となるよう適正に管理していきたい。

### 令和4年9月度

\映像はこちら /



- 1 滑川市の教育について
- 2 小中学校の通学区域について
- 3 消防機能別団員について
- 4 一人暮らし高齢者の安否確認について

滑川市に不登校特例校を設置する考えはないか。

椎名学務課長 不登校特例校は一人一人の特性、状況に合わせた指導を行う高い専門性を持つ教員の配置が必要であるなど、運営上の課題も多い。不登校特例校の特色ある教育課程等、参考にする点も多いと考えており、全国の先進校の成果と課題について研究し、各学校における不登校児童・生徒支援の充実にも努めていきたい。

滑川市では第五次総合計画で令和7年度までに不登校児童生徒をゼロにするといっているが何か根拠はあるか。

椎名学務課長 子供たちにはどのような社会の変化があっても自ら考え、自ら判断して壁を乗り越えようと努力する生きる力を育みたいと考えている。各学校では教育内容の工夫に努めており、学校が生きる力の基盤を育みたいと考えており、目標をゼロとしているのはそのためである。

小学校の通学区域で境界入りとなる場合、区域に関係なく距離等勘案し、自由に選択できるようにならないか。

上田教育委員会事務局長 通学区域の変更については数年ごとに滑川市小中学校通学区域審議会を開催し、地域からの要望について協議した上で、見直し等の対応を行っている。今後要望があれば見直しの検討をしていく。

機能別消防団員制度の導入についての検討の進捗状況は。

前野消防署長 機能別消防団員制度の導入について検討したところ、今年度より団員に各報酬を個人支給することにした。機能別団員より基本団員の確保を優先すべきと考え、制度の導入は見送ることにした。一人暮らしの高齢者がますます増える中で、滑川市では安否確認を行う対策をしているか。GPSシステムなど導入予定はないか。

梅原福祉介護課主幹 現在市では緊急通報装置の貸与を行っているほか、社会福祉協議会では異常を検知するIoT電球の貸与も行っている。今後、これらの対策のメリット、デメリットを勘案しながら、より有効なシステムの導入について調査研究していきたい。